

積算資料 建設資材価格指数

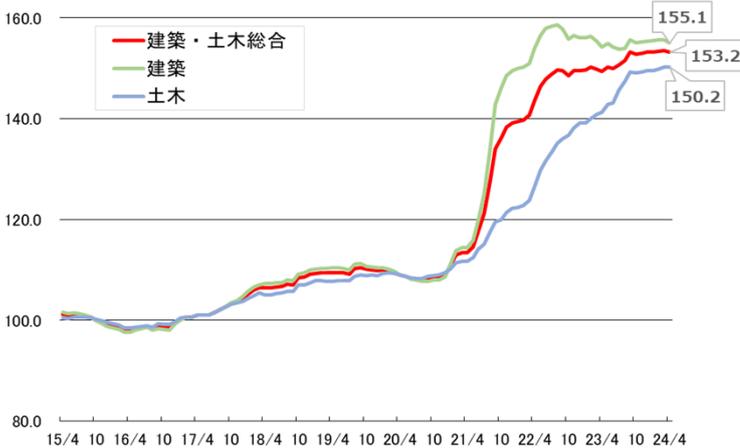


一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移 (2024年4月調査)

全国・2015年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同期比
建築・土木総合	153.2	-0.4	+3.8
建築	155.1	-0.6	+0.8
土木	150.2	-0.1	+8.9

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き (主要10都市)

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+6.6福岡●瀝青材：+1.4仙台、+1.3札幌、+1.2新潟・高松、+1.1広島・福岡、+1.0名古屋、+0.9那覇、+0.8東京・大阪●普通鋼鋼材：+1.6札幌、+0.6新潟、+0.3仙台、+0.2東京	<ul style="list-style-type: none">●その他の鋼材：-0.8広島、-0.3名古屋、-0.2東京・新潟・大阪・高松、-0.1仙台・福岡●特殊鋼鋼材：-9.3仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇、-9.1札幌●木材：-2.8広島、-2.7仙台・高松・福岡、-2.6東京・新潟、-2.5大阪、-1.4名古屋、-1.1那覇、-0.1札幌
建築	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+10.8福岡●普通鋼鋼材：+1.4札幌	<ul style="list-style-type: none">●その他の鋼材：-0.8広島、-0.3名古屋、-0.2東京・新潟・大阪・高松、-0.1仙台・福岡●木材：-2.8広島、-2.7仙台・高松・福岡、-2.6東京・新潟、-2.5大阪、-1.4名古屋、-1.1那覇、-0.1札幌
土木	<ul style="list-style-type: none">●瀝青材：+3.3那覇、+2.7東京・名古屋・大阪・広島、+2.6新潟・高松・福岡、+2.4札幌●普通鋼鋼材：+1.8札幌、+1.2新潟、+0.7東京、+0.2仙台	<ul style="list-style-type: none">●特殊鋼鋼材：-9.3仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇、-9.1札幌

指数集計対象資材の市況

4月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で153.2となり、前月から0.4ポイント低下した。前月を下回るのは6カ月ぶり。建築、土木別の指数も前月比マイナスとなっており、年度替わりの需要端境期を背景に、じり高で推移していた建設資材価格の上昇は一服感がみられる展開となっている。品目別では、特に一般建築用木材や型枠用合板の下落が指数のマイナスに寄与した。いずれも需要が低調に推移する中、決算期を迎えた販売側が在庫整理に動いたことから、一時的に競争が激化し市況は下落した。しかし、今後の建設資材価格は、2024年問題を要因とするコスト増を価格転嫁する販売側の姿勢が強まるとみられ、総じて強基調で推移しそう。そのため、指数も現行水準を維持しつつ緩やかな上昇が続くとみられる。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 普及推進室 TEL.03-5777-8212